

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kiidsぶうめらん江坂町(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 5月 1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別課題に対するアプローチ	送迎時など普段からの課題の共有。また、職員間でのアセスメントを常時行っている	合同研修などの際に、別の事業所間でも情報を共有し、課題に対しての意見交換を行う
2	多様な年齢層とのコミュニケーション	放課後等デイサービスの利用児童ともコミュニケーションが図れるよう、利用時間が少し重なるようにスタッフも間に入りながら相互のコミュニケーションを図れるようにしている	事業所間交流を増やしさらに多様なコミュニケーションの強化を図る
3	しっかりと児童一人(未就学児)に職員一人がつけるような環境	特に平日の午前中に関しては児童が少ないため、児童発達支援の児童に関しては手厚い療育やコミュニケーションが可能となっている	同法人内の別事業所とも連携を取り、様々な環境作りを設定し手厚い体制をとることができている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同年代の小集団の形成	放課後等デイサービスの利用者が多いためや児童発達支援の受け入れを圧迫している部分がある(児童発達支援から放課後等デイサービスに上がる際に可能な限り受け入れている)。	地域や事業所間での交流を増やし事業所外でも同年代と活動できる機会を確保する
2	地域連携	芋ほりやハロウィンなど地域との交流はあるものの、新しい企画などの発案ができておらず、またそこに割けるリソースが不足している	普段からの地域の方とのコミュニケーションを心がける。また地域のイベントなどにアンテナを張る。業務分担で地域連携を取り入れる
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kidsぶうめらん江坂町(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 5月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別課題に対するアプローチ	送迎時など普段からの課題の共有。また、職員間でのアセスメントを常時行っている	合同研修などの際に、別の事業所間でも情報を共有し、課題に対しての意見交換を行う
2	多様な年齢層とのコミュニケーション	児童発達支援の利用児童ともコミュニケーションが図れるよう、利用時間が少し重なるようにスタッフも間に入りながら相互のコミュニケーションを図れるようにしている	事業所間交流を増やしさらに多様なコミュニケーションの強化を図る
3	集中しやすい療育環境	課題を行う際それぞれスペースを独立させ、しっかりと課題に取り組めるように構造化している	現状が最大値と考えるが、スタッフ間で意見を出し合い更なる環境の整備をかのうであれば行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動系の療育	座学での療育がメインのため平常時の外遊びや体操・サーキットトレなどがやや不足に感じる	可能な範囲で取り入れ身体を動かす時間を設けていく
2	地域連携	芋ほりやハロウィンなど地域との交流はあるものの、新しい企画などの発案ができておらず、またそこに割けるリソースが不足している	普段からの地域の方とのコミュニケーションを心がける。また地域のイベントなどにアンテナを張る。業務分担で地域連携を取り入れる
3			